

社 協 名		宮崎市社会福祉協議会 本所 2 - ①							
ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験メニュー							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容		宮崎市内の福祉施設にボランティアの受け入れ状況や、希望するボランティア内容などの調査を行い、ボランティア体験メニューを作成した。 宮崎市内の学校や各地区社会福祉協議会、本会来所者等への周知を行い、本体験メニューをきっかけに、ボランティア活動ならびに福祉に対する活動への理解を深めることを目的として実施した。						活動分野 複数の分野	
実施日		令和 7 年 7 月 1 日 (火) ~ 9 月 30 日 (火)							
活動場所 (建物名等)		各福祉施設、団体等の活動場所							
協力団体									
総 数 (体験者数+協力者数)								54 名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計		
			20	28		6	54 名		
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計		
							0 名		
活動の様子など	<p>昨年度は受入れ施設・団体が118か所であったが、今年度は131か所に増加し、今後ボランティア受け入れ先がさらに増加するのではないかと予想する。</p> <p>本体験メニューを活用してボランティア希望の相談に対し、一緒にボランティア先を探すことができ、より相談者が望むボランティア活動につなげることができたと考える。</p>								

令和 7 年度
ボランティア体験メニュー
はじめのいっ歩♪

7~9月は
ボランティア
体験月間です

ボランティアをしたいのにきっかけがつかめない・・・
何かを始めたいけど、どうすればいいかわからない・・・と思っているあなた！
宮崎市社協ボランティアセンターでは、「**ボランティア体験メニュー**」をご用意しました(〃)★

「何かしたい！」その思いをぜひ行動に移してみませんか？
あなたの新たな一歩をお手伝いします！ぜひ気軽にお電話下さい！！

申し込みフォーム
こちらです

宮崎市社会福祉協議会
ボランティアセンター
☎52-7170(直通)
52-5131(代表)

みやざきボランティア活動推進
センター

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 本所 2 - ②							
ボランティア体験プログラム名	障がいの理解とボランティア							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	障がい福祉やボランティアに関心のある方や、これからを担う若い世代を対象に、障がいへの正しい理解を深め、実際のボランティア活動を体験することで、地域社会の一員として、困っている人に配慮できる人材育成につなげることを目的に開催。当事者からの講話、ニュースポーツ体験等を行い、まとめとして自分たちにもできることは何かをグループで意見共有を行った。						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 8 月 1 日 (金)、8 月 7 日 (木) ※受講後のボランティア体験は別途実施。							
活動場所 (建物名等)	宮崎市総合福祉保健センター							
協 力 団 体								
総 数 (体験者数+協力者数)							40	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
			13	16		11	40	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
							0	名
活動の 様子など	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生を中心に、一般の方にもご参加いただいた。 ・今年度は、1日目に、「目にみえる障がい」のテーマで、身体障がい当事者の方からの講話、ニュースポーツ体験、手話体験等を実施し、2日目に、「目に見えない障がい」のテーマで、発達障がいの当事者家族、高次脳機能障がいの当事者家族からの講話、ふうせんバレー体験を実施した。 ・障がいの方に対する思いやりなど、困っているときの接し方などを勉強することが出来、自分にも出来ることのあるのだと思えたなどの意見があった。 ・講座受講後のボランティア体験でも、実際に、身体障がい、発達障がいの方々と接したことにより、一層障がいへの理解が深まった様子があった。 						 	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 佐土原支所							
ボランティア体験 プログラム名	わんぱくふくし体験「デイサービスでボランティア体験！」							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	目的：福祉やボランティアに興味を持ってもらうきっかけとして、高齢者と接するボランティアを体験し、高齢者への支援など思いやりの気持ちを育み、また、自ら進んで行動できるようになることを目的に開催。 内容：デイサービスで、レクリエーション活動の手伝い						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 7 月 26 日（土）							
活動場所 (建物名等)	まちなかテラス Sun Bridge ・デイサービス結テラス							
協力団体	明照福祉会（会場使用・デイサービス協力）							
総 数 (体験者数+協力者数)							19	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		5	10			4	19	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0	名
活動の 様子など	<p>デイサービスでの活動にあたり、①講話（ボランティアとは、・デイサービスについて）では、参加者は真剣に聞いていた。</p> <p>次の、②デイサービスの高齢者にプレゼントのコースター作りでは、中学生が小学生の手伝いをするなど和気あいあいと作業し、かわいい小物が完成した。</p> <p>デイサービスに移動する時に、今回使用した会場に初めて来た児童も多く、担当者に、会場を回りながら「地域の活性化と交流ができるよう居場所作りとしての役割」の説明をしていただいた。</p> <p>デイサービスでの活動では、それぞれのテーブルにプレゼントを渡すときに、緊張しているのか、会話がぎこちなかったが、ジグソーパズルの競争で、ゲームの説明をしたりアドバイスをしたりとレクリエーションの手伝い合いが始まったら、とても盛り上がっていた。</p> <p>参加者から「とても良い経験をした」「ボランティアは思ったより難しくなかった」などの感想をいただいた。</p>						   	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		宮崎市社会福祉協議会 田野支所							
ボランティア体験 プログラム名		ボランティア清掃活動に参加して【田野地域をきれいにしよう!】							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容		ボランティアのきっかけ創りとして、清掃活動に参加することで地域をきれいにする思いやりの心を育む事を目的に、田野町ボランティア連絡協議会と一緒に田野駅周辺と田野総合福祉館周辺の清掃活動を行いました。						活動分野	
								自然・環境	
実施日		令和 7 年 8 月 24 日 (日)							
活動場所 (建物名等)		田野駅周辺と田野総合福祉館周辺							
協力団体		田野町ボランティア連絡協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)								72 名	
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計		
	1	4	20	1		5	31	名	
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計		
						41	41	名	
活動の 様子など	<p>田野町ボランティア連絡協議会21団体の会員と一緒に、田野駅周辺と田野総合福祉館周辺の清掃活動を行いました。草むしりや落ち葉拾いなど、日ごろから、清掃活動の経験のない生徒たちが、汗だくになりながら一生懸命作業を行ってくれました。</p> <p>ボランティア団体の皆さんの手助けもあり、田野総合福祉館周辺がとてもきれいになりました。</p>								



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 高岡支所 2 - ①						
ボランティア体験プログラム名	傾聴ボランティア体験						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	傾聴ボランティア活動者より、傾聴活動について講義を受けた後、介護事業所を訪問し傾聴活動を体験する。					活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 8 月 21 日 (木)						
活動場所 (建物名等)	高岡福祉保健センター穆園館・介護事業所 デイサービスセンターみどり						
協力団体	傾聴ボランティアひまわり						
総 数 (体験者数+協力者数)						18	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		4	11			1	16 名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						2	2 名
活動の様子など	<p>日頃から傾聴ボランティア活動を行っているボランティア団体「傾聴ボランティアひまわり」を講師に招き、日頃の活動の様子や言葉かけをする際の注意事項などを教わったあと、介護施設を訪問する時に持参している「新聞紙で作るゴミ袋」を、参加者全員で制作した。</p> <p>講義終了後、手づくりした「ゴミ袋」を持って介護施設を訪問。施設利用者と対面しながら、傾聴活動を行った。</p> <p>施設利用者からは、「子どもたちとのふれあいの時間のおかげでとても元気が出た」という声が多く聴かれた。また、参加した生徒や児童からは、「とても勉強になった。また参加したい」との感想があった。</p> <p>施設の管理者からは、「今後も、このような機会を設けてほしい」と要望を受けた。</p>						

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 高岡支所 2 - ②						
ボランティア体験 プログラム名	訪問ボランティアを学ぶ 「バルーンでちょこっとボランティア！」						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	施設やふれあいサロン等に出向く「訪問ボランティア」の育成を目的として、「バルーンアート」制作を体験し技法を習得。その後、実際に児童の前で、習得した技法を披露する。 ・1回目：バルーンアートの作り方を学ぶ ・2回目：バルーンアートの技を披露しましょう！						活動分野
							福祉
実施日	令和 7 年 9 月 22 日 (月) 9 月 29 日 (月)						
活動場所 (建物名等)	高岡福祉保健センター穆園館						
協力団体	キャンディバルーン(講師及び補助)						
総 数 (体験者数+協力者数)							64 名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
		33				31	64 名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
							0 名
活動の 様子など	<p>1 回目は、講師に初心者向けのバルーンアート「剣・花・犬」の作り方のレクチャーを受け、それぞれの作成に取り掛かった。バルーンの膨らませ具合などのちょっとしたコツなどを学び、第1回目の講義を終了。参加者はバルーンとポンプを持ち帰り、1 週間の自宅練習を行った。</p> <p>2 回目は、復習を行った後に高岡地域の児童クラブの児童たちの前で技を披露。児童のリクエストしたバルーンを、次々と制作できるまでの腕前になった。参加者からは、「ボランティア活動に活かせる技術が習得できたので、すぐにでも披露したい。」と感想が寄せられた。</p>						

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～


※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 清武支所							
ボランティア体験 プログラム名	令和7年度ボランティア意識の啓発事業 わんぱく福祉体験 「～福祉について考えよう2025～」							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	手話体験を通して障がいがある方の日常生活を知る上での不便さや大変さを感じ取り、様々な立場の方の気持ちを考えられるきっかけにしてもらうことを目的とする。						活動分野	福祉
実施日	令和7年8月3日(日)							
活動場所 (建物名等)	清武総合福祉センター							
協力団体	清武手話サークル てとてとて							
総 数 (体験者数+協力者数)							27	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		7				5	12	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						15	15	名
活動の 様子など	<p>前半は子どもチーム、大人チームの2つに分かれて学びました。</p> <p>子どもコースでは「難聴理解かるた」を使用し、かたに描かれた絵はどんなことを示しているのか一人ひとりが一生懸命考えました。</p> <p>大人コースでは、難聴者の福祉講話を聞き、どんなことに苦労されたのか質問も交えながらの交流の時間となりました。</p> <p>聞こえにくい体験は全員が行いました。ヘッドホンから聞こえる雑音を聞きながら、相手の言葉を読み取る作業はとても難しいようでした。</p> <p>参加者からは「たとえ手話ができなくても書くことで伝えることができる」「ジェスチャーをつけることで相手に理解してもらいやすくなる」など様々な意見もできました。体験を通して学ぶことができたようです。</p> <p>最後には学んだあいさつの手話を講師の先生へ参加者全員が一人ずつ披露し、笑顔で会が締めくくられました。</p>							



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～一部期間外実施も可～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会	2 - ①					
ボランティア体験プログラム名	親子で手話体験						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	学校における福祉学習において福祉講話や障がいの理解などの学習により、「福祉」「ボランティア」に触れる機会をもっていますが、その学習後にもっと学びたいとの声があり、手話体験を通して、コミュニケーションの手段や手話に対する理解を深め、また親世代が「福祉」「ボランティア」にふれ、親子で学べる機会として実施。						活動分野 福祉
実施日	令和 7 年 8 月 30 日 (土)						
活動場所 (建物名等)	都城市総合社会福祉センター						
協力団体							
総 数 (体験者数+協力者数)							31 名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		17				12	29 名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						2	2 名
活動の様子など	<p>聴覚障害者のコミュニケーション手段やあいさつの手話や自己紹介を学び、声を使わずにコミュニケーションをとるゲームなどもおこなった。</p> <p>参加者からは「講師の方の笑顔がとても素敵で良い体験ができた」「子どもが興味から学びたいに変わった」という声も寄せられ、継続的な活動の必要性を感じた。</p>						

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会	2 - ②					
ボランティア体験 プログラム名	Let'sボランティアin五十市 ～キャップオープナーづくり～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	五十市中学校ボランティアクラブの活動をもっと広げたいとの学校の意向があり、地域とのコラボを検討。地域側からも協力してもらいたいことがあるとのことで今回コラボが実現した。						活動分野 福祉
実施日	令和 7 年 9 月 20 日 (土) ～ 9 月 21 日 (日)						
活動場所 (建物名等)	五十市地区公民館、五十市地区内						
協力団体	五十市地区社会福祉協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							40 名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
			20				20 名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
						20	20 名
活動の 様子など	<p>はじめは地域の皆さんから、手取り足取りキャップオープナーづくりを教えていただき、生徒たちは苦戦していた様子だったが、慣れてくると生徒同士で教え合ったり、逆に生徒が地域の方に教えたりと、活動が広がっていた。</p> <p>完成したもの（キャップオープナー）は、五十市地区社会福祉協議会主催の高齢者ふれあい訪問のプレゼントとして配布される予定である。（生徒も一緒に訪問する予定となっている）</p>						



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施也可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会 高城サテライト 2 - ①									
ボランティア体験 プログラム名	中学生公民館清掃ボランティア体験活動									
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	高城中学校生徒を中心に地域貢献のため自分の住んでいる 公民館の清掃活動を行う							活動分野	自然・環境	
実施日	令和 7 年 8 月 21 日 (木)									
活動場所 (建物名等)	高城地区内公民館12か所									
協 力 団 体	高城中学校生徒会、地域ボランティア、自治公民館									
総 数 (体験者数+協力者数)								253	名	
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計			
		3	214	3		30	250	名		
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計			
						3	3	名		
活動の 様子など	<p>高城中学校が地域貢献のために、生徒が主体となりボランティア体験（公民館清掃活動）に参加。公民館の中や外の掃除、除草作業、ゴミの分別などを行った。</p> <p>作業を通じて、生徒と地域の方との交流やリサイクルについての学習も行った。今後も生徒と地域の方と顔の見える交流が深められるボランティア活動ができるといいと感じた。</p> <p>日頃、掃除ができない高い箇所や網戸の清掃など公民館の役員さん方も大変喜ばれていました。</p>					     				

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。






※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会 高城サテライト 2 - ②									
ボランティア体験プログラム名	観音池公園美化活動									
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	高城観音池まつり花火大会の翌朝に会場内や公道のゴミ拾いを中心に清掃活動を行い、地域住民の方とも交流を深める								活動分野	自然・環境
実施日	令和 7 年 9 月 1 日 (月)									
活動場所 (建物名等)	観音池公園内外									
協力団体	高城町商工会、ライオンズクラブ、赤十字奉仕団、地区ボランティア連協									
総 数 (体験者数+協力者数)							53	名		
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計			
						50	50	名		
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計			
						3	3	名		
活動の様子など	<p>イベント翌朝に高城地区の各団体、地域ボランティアが集まって、まつり後のゴミ拾いを中心に環境美化活動を行い会員相互の交流を深める。</p>									     

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会 山田サテライト							
ボランティア体験プログラム名	環境に関する学習会&EM菌泥団子作り							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	施設内にある中庭の池（鯉を飼育中）の水を環境に配慮した形で洗浄を実施。EM菌や環境について学習会を実施した後に、動植物に害のないEM菌泥団子を作成し、池に投げ入れ、その後の水の変化や環境について学ぶ。						活動分野	自然・環境
実施日	令和 7 年 7 月 6 日（日） ～ 7 月 30 日（水）							
活動場所 (建物名等)	山田総合福祉センター（けねじゅ苑）							
協力団体	山田地区社会福祉協議会、山田町ボランティア連絡協議会、綾町水を守る会							
総 数 (体験者数+協力者数)							21	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		11		1		5	17	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						4	4	名
活動の様子など	<p>◆7月6日(日) 地区社協の事業の一つである「山田ジュニアボランティアひまわり隊」と「山田町ボランティア連絡協議会」とで池を綺麗にするためのEM菌泥団子づくりを実施。『綾町水を守る会』の方を講師としてお招きし、学習会で微生物や環境保全について説明を聞く。EM菌は人にも環境にも優しい善玉菌の集合体であることを学ぶ。</p> <p>(EM菌泥団子は光合成細菌や乳酸菌、酵母菌が共生し発行することで、農地や水環境の改善に力を発揮する) 学習会を終えてから、2グループに分かれてEM菌泥団子を作成し、トレイに並べて車庫にて熟成させる。感想としては匂いが強かったがやってみると楽しかったという意見が多く、勉強にもなり泥団子を楽しく作るという思い出になった。</p> <p>◆7月30日(水) 団子の周りに白いカビが生えてから、敷地内の中庭の池（鯉を飼育中）に投げ入れる。その後の水の変化や環境について観察すると、以前よりも水が綺麗になったと分かる。</p>						     	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	都城市社会福祉協議会 高崎サテライト							
ボランティア体験プログラム名	夏休み子ども寺子屋サロン							
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	高崎地区社協主催の事業。地区内の小学生を対象にした「学習」、「交流」、「遊び」の体験活動を行うサロンで、中学生が地域ボランティアといっしょに講師補助、及び小学生の活動の支援を行う。						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 7 月 29 日 (火) ～ 7 月 31 日 (木)							
活動場所 (建物名等)	さわやか館、高崎福祉保健センター、前田地区体育館							
協力団体	高崎地区社会福祉協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)							48	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
		31	4				35	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
						13	13	名
活動の様子など	<p>小学生が夏休みの宿題を行う中で、分からないところを中学生や一般ボランティアの方が丁寧に分かりやすく教えていただきました。自主学習のほかに、スポーツレクレーションや調理体験などを行いました。準備や片付けのご協力もいただきました。</p> <p>また参加児童の中には、来年は中学生ボランティアとして参加したいと言ってくれた児童もあり、次年度以降も活動を継続していきたいと思います。</p>							



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会 6 - ①									
ボランティア体験 プログラム名	ボランティア体験 ～金堂ヶ池 清掃～									
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 NPO法人金堂ヶ池を美しくする会に協力を得て、金堂ヶ池周辺の清掃活動を行う。							活動分野	自然・環境	
実施日	令和 7 年 7 月 1 日 (火) ～ 9 月 30 日 (火)									
活動場所 (建物名等)	西階公園金堂ヶ池									
協力団体	NPO法人金堂ヶ池を美しくする会									
総 数 (体験者数+協力者数)							92	名		
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計			
		1	48	6		7	62	名		
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計			
						30	30	名		
活動の 様子など	<p>参加者は公園を散策している一般の方からも励ましの声をかけられる等、交流活動にも繋がっていました。</p> <p>活動前の事前説明の中で、ボランティアの活動の立ち上げの経緯や活動状況等を参加者へ話す時間を設け、活動への理解を深めていました。</p> <p>一度だけの参加ではなく、継続した活動に繋がっています。</p>									

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会 6 - ②							
ボランティア体験 プログラム名	ボランティア体験 ～子ども食堂～							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 市内の子ども食堂に協力得て、調理、配膳、受付、消毒作業等を体験。						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 7 月 1 日 (火) ～ 9 月 30 日 (火)							
活動場所 (建物名等)	山下新天街の中・今山登り口、恒富公民館、古城町個人宅牧公民館、無鹿公民館、大門公民館、一ヶ岡コミュニティセンター、市内施設、南方東コミュニティセンター、桜ヶ丘B地区集会所、市内事業所							
協力団体	子ども食堂のべおか今山、子ども食堂恒富、みんなの食堂 牧、土々呂食堂、土曜給食、にこにこキッチン、子ども食堂 桜ヶ丘、子ども食堂 もも太郎							
総 数 (体験者数+協力者数)							164	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		2	55	4	2	1	64	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						100	100	名
活動の 様子など	<p>各子ども食堂で、調理や食材の盛り付けの手伝い、机や椅子の準備や清掃、消毒作業などを行っていました。 ボランティアの参加をスタッフは喜び、活気のある活動になっていました。 子ども食堂が終了後、スタッフと参加者が交流しながら食事を楽しみ、自分たちが手伝った料理は美味しいという声も上がっていました。 一度だけの参加ではなく、継続した活動に繋がっています。</p> 							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施也可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。


※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会 6 - ③						
ボランティア体験 プログラム名	ボランティア体験 ～動物の世話・部屋の掃除～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、活動へのきっかけづくりを提供する。 アニマルパディに協力を得て、部屋の掃除、動物の世話等を体験。						活動分野
							その他
実施日	令和 7 年 7 月 1 日 (火) ～ 9 月 30 日 (火)						
活動場所 (建物名等)	構口シェルター						
協力団体	アニマルパディ						
総 数 (体験者数+協力者数)							34 名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			19				19 名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						15	15 名
活動の 様子など	<p>猫を保護しているシェルター内の清掃や、餌や飲み水の交換を行いました。 配慮の必要な猫もいるので、個々に応じた対応をしていました。 動物に触れ合う機会がない子どもたちに、人気のあるボランティア活動となっています。 一度だけの参加ではなく、継続した活動に繋がっています。</p> 						

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。


※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会 6 - ④							
ボランティア体験 プログラム名	ボランティア体験 ～おもちゃの修理・マスコット作成～							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 おもちゃ病院のべおかに協力を得て、簡単なおもちゃの修理やマスコット作成を体験する。						活動分野	その他
実施日	令和 7 年 7 月 1 日 (火) ～ 9 月 30 日 (火)							
活動場所 (建物名等)	延岡市社会福祉センター							
協力団体	おもちゃ病院のべおか							
総 数 (体験者数+協力者数)							27	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
			6			1	7	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
						20	20	名
活動の 様子など	<p>簡単なおもちゃの修理の手伝いや、マスコット作りを体験しました。 作成したマスコットは、交通安全協会へ寄付し、新一年生になる児童に配布されます。</p> 							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会 6 - ⑤							
ボランティア体験 プログラム名	ボランティア体験 ～切手の仕分け作業～							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 市民から寄せられた使用済み切手を日本キリスト教海外医療協会に発送を行う。日本キリスト教海外医療協会では、1箱（7.5キロ程）を14,000円でコレクターの方々で購入、その益金は、アジア、アフリカの発達途上国の方々の医療費補助に使用。						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 7 月 1 日（火） ～ 9 月 30 日（火）							
活動場所 (建物名等)	延岡市社会福祉センター							
協力団体	延岡 草の実会							
総 数 (体験者数+協力者数)							11	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
						1	1	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
						10	10	名
活動の 様子など	<p>封筒や葉書に貼ってある切手が、多くの方々の役に立っていることの素晴らしさを実感しながら活動していました。</p> 							

※ 7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	延岡市社会福祉協議会 6 - ⑥							
ボランティア体験 プログラム名	ボランティア体験 ～花壇の手入れ～							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 延岡植物園の花壇管理を行い、植物園を訪れる市民の憩いの場となるよう活動、夏場は花壇の除草作業を主に実施している。						活動分野	まちづくり
実施日	令和 7 年 7 月 1 日 (火) ～ 9 月 30 日 (火)							
活動場所 (建物名等)	延岡植物園							
協力団体	フローラルレディース							
総 数 (体験者数+協力者数)							6	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
				1			1	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						5	5	名
活動の 様子など	<p>参加者はボランティアとの交流を楽しみながら活動をしていました。 若い力で活動もはかどり、大変助かったと話されていました。</p> 							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。


社 協 名	日南市社会福祉協議会									
ボランティア体験プログラム名	みんなでボランティア									
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	市内三駅に分かれて、駅周辺のごみ拾い・草抜き等の清掃活動							活動分野	自然・環境	
実施日	令和 7 月 8 月 3 日 (日) 7 時 30 分 ~ 8 時 30 分									
活動場所 (建物名等)	飫肥駅・日南駅・南郷駅									
協力団体	日南市ボランティア連絡協議会・日南市社会福祉施設等連絡会									
総 数 (体験者数+協力者数)								122	名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計			
			1	22	13	82	118	名		
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計			
						4	4	名		
活動の様子など	<p>日南市内の（飫肥・日南・南郷）駅周辺に分かれ環境美化活動を実施しました。普段利用する駅周辺も、よく見るとゴミや汚れがあることに気づき、駅舎内の天井や机椅子の裏側の拭き掃除、花壇の雑草取りやゴミなど集めました。</p> <p>各駅で集まったゴミや雑草の量は、飫肥駅200Kg、日南駅で80Kg、南郷駅で20Kg、合計300Kgのゴミを参加していただいた皆さんのおかげで集めることができました。</p> <p>きれいになった駅を見て「すがすがしい気分」と笑顔を見せてくれる学生がいたことから、この活動が、ボランティア活動のきっかけになってもらうよう、今後も継続して活動していきたいです。</p>									



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		小林市社会福祉協議会 本所							
ボランティア体験 プログラム名		夏のボランティア体験							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容		体験を通して思いやりの心を養い福祉への関心を育てると共に、学生ボランティアの活動・登録を促す。年齢の違う児童、生徒が同じ時間を過ごすことで、協調性・共同性を育み社会の一員としての資質を身につける。 ・細野小学生の夏休みの宿題（絵画、書道）の学習支援を高校生が行う。						活動分野	
								その他	
実施日		令和 7 年 8 月 5 日（火）							
活動場所 (建物名等)		小林市立細野小学校 北校舎1階							
協力団体		細野まちづくり協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)								55 名	
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			37	1				38 名	
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
				3	6		8	17 名	
活動の 様子など	<p>小学生の希望制で、絵画教室と書道教室のいずれかを選択してもらい、2クラスに分かれて学習支援を行った。当日、最初は緊張した様子だった参加者も、活動を通して徐々に打ち解け笑顔で交流する姿が見られた。年齢の近い学生ボランティアさんとの関わりにより、小学生の嬉しそうな表情が印象的だった。</p> <p>また、ボランティアさんから積極的にコミュニケーションを図り、作品のアイデアを出したり、アドバイスをしたりするなど、良好な交流が築いていた。</p>								
		 ← 書道教室						 絵画教室 →	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施也可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	小林市社会福祉協議会 野尻支所							
ボランティア体験プログラム名	ボランティア体験事業							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	学習支援ボランティアグループの設立につなげることを目的に、事前に学習支援前から携わり、当日の学習支援ボランティア体験活動を実施した。						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 7 月 26 日 (土)							
活動場所 (建物名等)	野尻町保健福祉センター 友愛会館							
協力団体								
総 数 (体験者数+協力者数)							5	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	5 名
			1	1		3		
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	0 名
活動の 様子など	<p>ボランティアには事前準備、参加者受付から携わってもらい、ボランティア体験活動をスムーズに実施できた。</p> <p>今回も感染防止対策として、手指の消毒や換気をしながら実施した。</p> <p>参加児童には事前準備をお願いしてあったため、児童が何をしたいのか伝えた後、ボランティアのアドバイスを受けながら宿題に取り組むことができた。</p> <p>ボランティアは、絵画などの得意分野を活かして意欲的に児童と関わることが出来ていた。</p> <p>また、児童からは「楽しかった」「いつもより早く宿題が終わった」「また来たい」「やさしく教えてもらって良かった」という声があり、保護者からも大変喜ばれた。</p> <p>今回の学習支援ボランティア体験活動を通して、世代間交流を図ることができた。</p>							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。



※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	小林市社会福祉協議会 須木支所							
ボランティア体験プログラム名	暮らしの困りごと助け隊							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	須木地区内の公共施設の清掃などニーズに対するボランティアを体験する。 ・地区体育館の清掃 ・須木中央保育園の草取り、園児との交流						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 8 月 1 日 (金)							
活動場所 (建物名等)	須木地区体育館 ・ 須木中央保育園							
協力団体	小林市立須木中学校 鳥田町校区社会福祉協議会 須木地区友愛クラブ連絡協議会				須木中央校区社会福祉協議会 須木地区民生委員児童委員協議会 須木地区ボランティア連絡協議会			
総 数 (体験者数+協力者数)							26	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			23				23	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						3	3	名
活動の 様子など	<p>○事前学習（7月17日(木)） 須木中学校の生徒（1～3年生）に対し、ボランティアについての講話、活動実施の内容説明を実施。</p> <p>○暮らしの困りごと助け隊 当初は一人暮らし高齢者宅や障がい者宅の訪問を計画していたが、普段中学生も含め地域の方が使用している体育館をきれいにしたいという声や、交流を含めた活動を希望する声が聞かれたため内容を変更。 参加者を2つの班に分け、体育館の清掃、保育園の草取りと交流の2つの活動をそれぞれ実施。</p>				 			

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	日向市社会福祉協議会							
ボランティア体験プログラム名	夏休み児童サポートボランティア							
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動を通しての様々な人との関わりが、福祉への興味・関心を持つきっかけにすることを目的に、ボランティア活動の場を望んでいる学生に対して、夏休み期間中の児童クラブで子どもたちの遊びや勉強のサポートを行う、「夏休み児童サポートボランティア」を実施しました。						活動分野	福祉
実施日	令和 7 年 7 月 28 日 (月) ～ 8 月 22 日 (金)							
活動場所 (建物名等)	財光寺児童クラブ、富高児童クラブ、日知屋東児童クラブ							
協力団体	財光寺小学校、富高小学校、日知屋東小学校							
総 数 (体験者数+協力者数)							9	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
				9			9	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0	名
活動の様子など	<p>参加者がこれまでの経験や学生のパワーを活かし、自分たちにできることを考えながら主体的に活動していました。</p> <p>活動への参加を通して、学生にボランティア活動の楽しさややりがいを実感してもらうことができました。また、様々な人（児童、児童クラブ職員、ともに活動する学生）との関わりから、福祉・児童に関する仕事への関心が高まり、進路選択の幅が広がったということが感じられました。</p> <p>【参加した学生の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 普段の生活の中では体験できないような出来事が多くあり、良い経験になりました。今日の出来事が今後活かされるように結び付けられたらと思います。 • 子どもたちがゲームを教えてくれたり、名前を呼んでくれたりしたことがうれしかったです。将来の夢にこういう仕事も考えてみようかなと思いました。 • 今後も児童と話したり、遊んだりするようなボランティア活動に参加したいです。 						 	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	串間市社会福祉協議会							
ボランティア体験 プログラム名	廃油キャンドル作り							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	環境保全の啓発として、SDGsの観点からもゴミを減らす重要性や排水に流すと環境に悪影響を及ぼすこと、ゴミの減量など身近な環境問題に気づくことができる。 通常捨ててしまう使った油や卵の殻を活用したキャンドル作りに興味を示し、参加者がアドバイザーに工程を聞きながら廃油キャンドルづくり実践（体験）						活動分野	自然・環境
実施日	令和 7 年 8 月 2 日（土）							
活動場所 (建物名等)	崎田多目的集会施設							
協力団体	講師：宮崎県環境保全アドバイザー 協力：環境ボランティアグループ「環の会」							
総 数 (体験者数+協力者数)							17	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		7				3	10	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						7	7	名
活動の 様子など	<p>環境アドバイザーから廃油キャンドル作りの全体的な作り方の説明を受け、家庭から持ってきた廃油を温め、熱いうちに凝固剤を入れる工程を実践（体験）。できたものを水が入った容器に入れ点火。また、災害時の備えとして停電になった際に役立つ事を教わる。</p> <p>参加した児童及び保護者は興味・関心を持ってキャンドル作りに参加。 「資源ゴミを意識してゴミ出しをすることや廃油を使ったキャンドル作りが楽しかった」「身の回りにある、そのままだとゴミになるものをまた使えるものに变身させ、楽しく活用する方法を学ぶことができた」との感想を頂いた。</p>							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		西都市社会福祉協議会						
ボランティア体験 プログラム名		手話・防災食の体験						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容		ボランティア活動の理解促進と普及活動を 目的にしている					活動分野	福祉
実施日		令和 7 年 1 1 月 9 日 (日) 10時 ~ 15時						
活動場所 (建物名等)		西都原 (オータムフェスタ)						
協 力 団 体		西都市ボランティア連絡協議会						
総 数 (体験者数+協力者数)							74	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	7	10	5			30	52	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
			4	2		16	22	名
活動の 様子など	<p>今回は、ボランティア活動の普及に向けて、オータムフェスタの会場内で「手話体験」や「手作りの防災用品」「防災食の試飲」など体験型を用意しました。</p> <p>会場内の出店は飲食店がほとんどを占め、ボランティア活動に興味を持つ人が少ない中でも、イベントのチラシや試飲やレシピを案内すると足を止めてくれる人もいました。</p> <p>こういった、地道な活動がボランティア活動への理解促進につながればよいと思いました。</p>							



※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	えびの市社会福祉協議会							
ボランティア体験 プログラム名	“お年寄りの”「困りごとお助け隊」							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	高齢者の生活上の困りごとの一つである、庭の草取りや窓ふきなどを中学生がボランティアとしてお手伝いをする事で、地域課題に触れるとともに地域高齢者との交流を図る。						活動分野	福祉
実施日	真幸地区：7月29日（火）、加久藤地区：7月30日（水） 上江地区：8月5日（火）、飯野地区：8月6日（水）							
活動場所 (建物名等)	えびの市内の高齢者宅							
協力団体	えびの市民生委員児童委員協議会、ケアマネジャー、在宅介護支援センター							
総 数 (体験者数+協力者数)	真幸中20名、加久藤中17名 上江中18名、飯野中24名						79	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
			79				79	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	
							0	名
活動の 様子など	<p>「困りごとお助け隊員」中学生79名は、4～5名のグループに分かれ、市内の高齢者宅17件の窓ふきなどの清掃活動を行いました。</p> <p>ボランティアを依頼した高齢者からは、「足が弱くなり庭の手入れができないので助かった」「子供たちとの会話が楽しかった」など喜びの声が聞かれました。</p> <p>「ボランティアはめんどくさいイメージがあったが、今回参加して、楽しさや嬉しさを感じる事が出来た。機会があったら積極的に参加し経験を広げたい」「喜んでくださった顔を直接見れて、やりがいを感じることができた」など、ボランティア活動の満足感や達成感を感じてもらうことができました。</p>						     	

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。


※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名		三股町社会福祉協議会 2 - ①						
ボランティア体験プログラム名		1.障がい者のガイドヘルプ体験 2.県下一斉ボランティアの日（第30回エコロジーボランティアinみまた）						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容		○視覚障がい者のガイドヘルプを行いながら、 環境ボランティアに係る。 ○町内の一斉清掃（ゴミ拾い・分別作業など）					活動分野	福祉
実施日		令和 7 年 8 月 24 日（日）						
活動場所 (建物名等)		三股町総合福祉センター、三股駅、公共施設、公園・河川敷 ほか						
協力団体		三股町ボランティア連絡協議会、さんさんクラブ三股 三股町身体障害者連絡協議会、三股町視覚障害者福祉会、障害者家族会 三股中学校、三股町役場						
総 数 (体験者数+協力者数)							483	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計	473 名
			11			462		
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一 般	計	10 名
						10		
活動の 様子など	<p>中学校が積極的に地域貢献活動に取り組まれる中で、本事業にも毎年参加されている。 同時に、視覚障がい者のガイドヘルプを体験しながら一緒に清掃活動をする事ができた。</p>							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	三股町社会福祉協議会 2 - ②							
ボランティア体験プログラム名	3.『つ・な・が・る 味噌づくり』体験							
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	宅食型フードバンク事業の一貫で利用者へ届けるために、味噌づくりの体験を行う。						活動分野	複数の分野
実施日	令和 7 年 7 月 20 日 (日) ほか							
活動場所 (建物名等)	ひかりの森							
協力団体	True Meals (食育推進ボランティア) ひかりの森こども園 (社会福祉法人 心耕福祉会)							
総 数 (体験者数+協力者数)							10	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	3	2	2				7	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						3	3	名
活動の様子など	<p>社協が取り組む、宅食型フードバンク事業『どうぞ便』の説明をした後に、産地直送にこだわった材料を使用し、実際に味噌づくり体験を行った。</p> <p>どうぞ便の利用者以外にも、生活困窮者の緊急時の支援にも役立てられている。</p>							

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施也可 ～
 ※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
 ※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高原町社会福祉協議会 3 - ①									
ボランティア体験プログラム名	お針子チクチクボランティア									
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	災害の復旧の際に必要なってくる「ぞうきん」を、好きな時間やお手隙なとき、また、みんなで集まってチクチク縫って、来たる災害に備えるとともに、災害に見舞われた地域に贈ることを目的とする。							活動分野		
								防災・安全		
実施日	令和 7 年 7 月 22 日（火）									
活動場所 (建物名等)	高原町総合保健福祉センターほほえみ館 中研修室 他（各ご自宅）									
協力団体	高原町ボランティア連絡協議会、高原町民 他									
総 数 (体験者数+協力者数)							26		名	
	うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計		
							23	23	名	
	うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計		
						3	3	名		
活動の様子など	<p>・活動中は、ただ雑巾を縫うだけではなく、一緒にテーブルの方々との会話が弾んでとても和やかな時間でした。</p> <p>・皆さんの会話からは、ぞうきんを縫い上げる達成感や、自分たちが縫ったぞうきんが被災された地域で役に立ってもらいたいという思いが伝わってきました。</p> <p>・この活動は、ただ単なる「縫い物」活動ではなく、人の心と意思をつなぐ「手しごと」だと活動だと感じました。</p> <p>・皆さんで縫い上げた「ぞうきん」は、令和7年8月豪雨で甚大な被害を受けた熊本県八代市へお贈りいたしました。</p>									


※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～
※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。
※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高原町社会福祉協議会 3 - ②							
ボランティア体験プログラム名	たかはるをきれいにしよう会							
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	町内施設の清掃活動を町民自ら行うことで、この活動が「誰かのため」であるとともに、「自分（町民）のため」にもなっていることを理解し、地域の人々とのつながりが深まり、信頼関係や連帯感が生まれることを目的とする。						活動分野	
							自然・環境	
実施日	令和 7 年 8 月 23 日（土）							
活動場所 (建物名等)	高原町総合保健福祉センターほほえみ館・神武ホール・南側駐車場周辺							
協力団体	高原町ボランティア連絡協議会・高原町民生委員児童委員協議会 ・高原町社会福祉法人連絡協議会・他							
総 数 (体験者数+協力者数)							106	名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
				2	2	100	104	名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						2	2	名
活動の 様子など	<ul style="list-style-type: none"> ・早朝から100名以上の方々が集合し、広い範囲を3班に分かれて作業を行いました。 ・初めて参加された大学生や高校生も、他の町民の方たちと一緒に一生懸命活動されていました。 ・孫のような学生さんと一緒に活動されることが楽しそうで、ホウキやてみの使い方を丁寧に教えてもらっていました。 ・自分たちの施設を自分たちの手できれいにすることで、地域の人と人の繋がり、連帯感が育まれたように感じました。 				 			

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施也可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。

社 協 名	高原町社会福祉協議会 3 - ③									
ボランティア体験プログラム名	身の回りにある「点字」を見つけて知ろう！									
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	身の回りにある点字を見つけ、その意味を理解し、その点字を打ってみることで、視覚障がい者への理解を深め、サポートすることの重要性を知る。								活動分野	
									福祉	
実施日	令和 7 年 9 月 29 日 (月)									
活動場所 (建物名等)	高原町中央茶飲み場									
協力団体	茶飲み場世話人ボランティア									
総 数 (体験者数+協力者数)								11	名	
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計			
						10	10	名		
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計			
						1	1	名		
活動の 様子など	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて「点字」を触ったり、打たれる方ばかりで、凸凹の違いや、点字を触って読むことの難しさを実感されたようだった。 ・自分の周りにある「点字」や「ユニバーサルデザイン」の品物に注視し、今まで気づきもしなかったデザインや工夫に感心されていた。 ・点字が6個の凸で、ひらがなの46文字を表現できることや、凸面や凹面で読む向きが違う事など、初めて知ることばかりだった様子。 ・現在は点字を読まなくても、情報を収集できるツールが増えている。このように技術の進歩に自分たちも追いついていけないといけなと改めて思われていた。 									

※7月～9月に実施された活動を御報告ください。～ 一部期間外実施も可 ～

※ボランティア体験プログラム参加者とは、実際に活動を体験した人を指します。

※ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティアとは、体験プログラムを実施した日の協力者を指します。